

祝成人

平成28年度 大田原市成人式

晴天に恵まれた1月3日(火)、大田原市成人式が那須野が原ハーモニホールで開催され、新成人たちが大人の自覚と熱い思いを胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年の新成人は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までの間に生まれた市内在住者、および市内出身者764人が対象でうち593人が出席しました。華やかな振袖や紋付き袴、スーツに身を包み、久しぶりに会う友人らと写真を撮ったり思い出話に花を咲かせたりしながら、旧交をあたため合う姿が見られました。

式典では、市長からの式辞や来賓の祝辞の後に、新成人代表の岡野翔大さんが、誓いのことばを述べ、新成人代表の佐藤綾香さんがお礼の言葉を述べました。また、中学校時代の恩師たちも参列してエールを送り、新成人たちは二十歳になった喜びと責任をかみしめていました。

式典の後、「記念演奏」を行い、那須野が原ハーモニホールの特属オルガニストのジャン・フリップ・メルカールト氏によるパイプオルガンと大田原

市出身の吉成律子さんによるフルートの演奏、そして、市内在住のソプラノ歌手、藤田和恵さんの独唱が披露されました。

華やかでやさしい音色と迫力のある歌声に会場内は静かに聞き入り、終演後は大きな拍手が送られました。



▲会場入り



▲市民憲章唱和



▼司会を務めた佐藤茉衣さんと梅澤亮賀さん



二十歳の誓い



▲新成人を代表して誓いのことばを述べた岡野翔太さん



▲お礼の言葉を述べた佐藤綾香さん

式辞に立った津久井富雄市長は、「あらゆる分野で活力に満ちた元気あふれる大田原市のために、これからは皆さんの若い力をもって、ぜひ積極的に市政に参加してください。そして、チャレンジ精神を最大限に発揮され、新たな時代を創造していけますことをご期待申し上げます。」と期待の言葉を述べました。



▲式辞を述べる津久井市長

誓いのことば

本日は成人を迎えた私たちの門出に對し、このように盛大で素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。昨年パリオデジャネイロオリンピックが開催された年でありました。日本から見ると地球の裏側で開催された今回のスポーツの祭典では、世界中が感動の渦に包まれました。特に私たちにとって、本県出身の萩野公介選手が金メダルを含めて四つのメダルを獲得したことは、大きな喜びであり、誇りを感じた出来事だったと思います。今回のオリンピックでは、数々の名勝負の中から、努力することの大切さや、家族への愛、さらには国家や人種、宗教といった垣根を越えて、世界の人々が一体となり一つのものを目指すことの素晴らしさを教えてくれました。

近年は少子高齢化や外交問題、温暖化など様々な問題が叫ばれています。このような社会の中で、私たちは何が出来るのでしょうか。私は、一人一人が与えられた役割を果たすことが大切だと考えます。それは、社会的な問題解決には直接は結びつかないかもしれませんが、それらのアクションは、必ず社会を動かします。社会が動けば少なからず問題の解決策は生まれてくると信じています。私たちは社会を、未来を変える未知なる可能性を秘めているのです。新成人として、そして一社会人としての責任をもってこれからの人生を歩んでいきたいと思えます。

平成二十九年一月三日

大田原市成人者代表 岡野 翔太



▲旧友との再会に喜ぶ新成人



▲ジャン＝フィリップ・メルカールト氏



▲ソプラノ歌手 藤田和恵さん
フルート演奏 吉成律子さん



▲新成人にエールを送る恩師



▲熱い思いを胸に



▲記念品のトートバッグ
(井原ジーンズ使用)



20歳の抱負



